

赤字の医薬品

成分名	効能効果	承認
クラドリン	ヘアリーセル白血病。再発・再燃又は治療抵抗性の下記疾患：低悪性度又はる胞性B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントリン細胞リンパ腫	2002年2月
ダカルバジン	悪性黒色腫、ホジキン病(ホジキンリンパ腫)	1985年11月
リツキシマブ	CD20陽性の次の疾患：低悪性度又はる胞性B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントリン細胞リンパ腫	2001年6月
ノギテカン	小細胞肺がん	2000年12月
トラスツズマブ	HER 2過剰発現が確認された転移性乳がん	2001年4月
アナストロゾール	閉経後乳がん	2000年12月
エキセメスタン	閉経後乳がん	2002年7月

青字の医薬品

成分名	効能効果
トキシソルピシン	次の諸症の自覚的及び他覚的症状の緩解：悪性リンパ腫(細網肉腫、リンパ肉腫、ホジキン病)、肺がん、消化器がん(胃がん、胆のう・胆管がん、膵臓がん、肝がん、結腸がん、直腸がん等)、乳がん、膀胱腫瘍、骨肉腫
アロプリノール	次の場合における高尿酸血症の是正：痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症
メルファラン	〔内〕次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の寛解：多発性骨髄腫 〔注〕次の疾患における造血幹細胞移植時の前処置：白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、小児固形腫瘍
メトトレキサート	〔錠〕次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：急性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、絨毛性疾患(絨毛がん、破壊胞状奇胎、胞状奇胎) 〔カ〕慢性関節リウマチ(過去の治療において、非ステロイド性抗炎症剤及び他の抗リウマチ剤により十分な効果の得られない場合に限る) 〔注〕(1)メトトレキサート通常療法(5-50 mg)：次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：急性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、絨毛性疾患(絨毛がん、破壊胞状奇胎、胞状奇胎) (2)CMF療法(5-50 mg)：乳がん (3)メトトレキサート・ホリナーチン療法(50-200 mg)：肉腫(骨肉腫、軟部肉腫等)、急性白血病の中樞神経系及び睾丸への浸潤に対する寛解、悪性リンパ腫の中樞神経系への浸潤に対する寛解 (4)メトトレキサート・フルオロウラシル交代療法(50 mg)：胃がんに対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強
エトポシド	〔内〕肺小細胞がん、悪性リンパ腫、子宮頸がん 〔注〕肺小細胞がん、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱がん、絨毛性疾患
フルダラビン	貧血又は血小板減少症を伴う慢性リンパ性白血病

シタラピン	<p>I 通常量療法用 (1)急性白血病(赤白血病,慢性骨髄性白血病の急性転化例を含む) (2)消化器がん(胃がん,胆のうがん,胆道がん,膵がん,肝がん,結腸がん,直腸がん等),肺がん,乳がん,女性性器がん(子宮がん,卵巣がん等)等。ただし他の抗腫瘍剤(フルオロウラシル,マイトマイシンC,シクロホスファミドクロモマイシンA3,メトトレキサート,ビンクリスチン,ビンブラスチン等)と併用する場合に限る (3)膀胱腫瘍。 II 大量療法用 急性白血病(急性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病)における次の療法 (1)再発又は難治例に対する寛解導入療法(サルベージ療法) (2)地固め療法。ただし急性リンパ性白血病については他の抗腫瘍剤と併用する場合に限る</p>
プレドニゾン	<p>[内] (1)慢性副腎皮質機能不全(原発性,続発性,下垂体性,医原性),急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ),副腎性器症候群,亜急性甲状腺炎,甲状腺中毒症(甲状腺(中毒性)クリーゼ),甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症,ACTH単独欠損症 (2)慢性関節リウマチ,若年性関節リウマチ(スチル病を含む),リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む),リウマチ性多発筋痛 (3)エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状),全身性血管炎(大動脈炎症候群,結節性動脈周囲炎,多発性動脈炎,ヴェゲナ肉芽腫症を含む),多発性筋炎(皮膚筋炎),強皮症 (4)ネフローゼ及びネフローゼ症候群 (5)うっ血性心不全 (6)気管支喘息,喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む),薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹,中毒疹を含む),血清病 (7)重症感染症(化学療法と併用する) (8)溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの),白血病(急性白血病,慢性骨髄性白血病の急性転化,慢性リンパ性白血病。皮膚白血病を含む),顆粒球減少症(本態性,続発性),紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性),再生不良性貧血,凝固因子の障害による出血性素因 (9)限局性腸炎,潰瘍性大腸炎 (10)重症消耗性疾患の全身状態の改善(がん末期,スプルーを含む) (11)劇症肝炎(臨床的に重症とみなされるものを含む),胆汁うっ滞型急性肝炎,慢性肝炎(活動型,急性再燃型,胆汁うっ滞型。ただし一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る),肝硬変(活動型,難治性腹水を伴うもの,胆汁うっ滞を伴うもの) (12)サルコイドーシス(ただし,両側肺門リンパ節腫脹だけの場合を除く),びまん性間質性肺炎(肺線維症。放射線肺臓炎を含む) (13)肺結核(粟粒結核,重症結核に限る) 結核性髄膜炎 結核性胸膜炎・結核性腹膜炎 結核性心臓炎(いずれも抗結核剤と併用する) (14)脳脊髄炎(脳炎,脊髄炎を含む。ただし,一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ,かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いる),末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む),筋強直症,重症筋無力症,多発性硬化症(視束脊髄炎を含む),小舞蹈病,顔面神経麻痺,脊髄蜘蛛膜炎 (15)悪性リンパ腫(リンパ肉腫症,細網肉腫症,ホジキン病,皮膚細網症,菌状息肉症)及び類似疾患(近縁疾患),好酸性肉芽腫,乳がんの再発転移 (16)特発性低血糖症 (17)原因不明の発熱 (18)副腎摘除,臓器 組織移植,侵襲後肺水腫,副腎皮質機能不全患者に対する外科的</p>
ビンクリスチン	<p>(1)白血病(急性白血病,慢性白血病の急性転化時を含む) (2)悪性リンパ腫(細網肉腫,リンパ肉腫,ホジキン病) (3)小児腫瘍(神経芽腫,ウイルムス腫瘍,横紋筋肉腫,睾丸胎児性がん,血管肉腫等)</p>

デキサメタゾン	<p>[内] (1)慢性副腎皮質機能不全(原発性,続発性,下垂体性,医原性),急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ),副腎性器症候群,亜急性甲状腺炎,甲状腺中毒症[甲状腺(中毒性)クリーゼ],甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症,ACTH単独欠損症,下垂体抑制試験 (2)慢性関節リウマチ,若年性関節リウマチ(スチル病を含む),リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む),リウマチ性多発筋痛 (3)エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状),全身性血管炎(大動脈炎症候群,結節性動脈周囲炎,多発性動脈炎,ヴェゲナ肉芽腫症を含む),多発性筋炎(皮膚筋炎),強皮症 (4)ネフローゼ及びネフローゼ症候群 (5)うつ血性心不全 (6)気管支喘息,喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む),薬剤その他の化学物質によるアレルギー 中毒(薬疹,中毒疹を含む),血清病 (7)重症感染症(化学療法と併用する) (8)溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの),白血病(急性白血病,慢性骨髄性白血病の急性転化,慢性リンパ性白血病,皮膚白血病を含む),顆粒球減少症(本態性,続発性),紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性),再生不良性貧血 (9)限局性腸炎,潰瘍性大腸炎 (10)重症消耗性疾患の全身状態の改善(がん末期,スプルーを含む) (11)劇症肝炎(臨床的に重症とみなされるものを含む),胆汁うっ滞型急性肝炎,慢性肝炎(活動型,急性再燃型,胆汁うっ滞型。ただし一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る),肝硬変(活動型,難治性腹水を伴うもの,胆汁うっ滞を伴うもの) (12)サルコイドーシス(ただし,両側肺門リンパ節腫脹だけの場合を除く),びまん性間質性肺炎(肺線維症。放射線肺臓炎を含む) (13)肺結核(粟粒結核,重症結核に限る) 結核性髄膜炎 結核性胸膜炎 結核性腹膜炎 結核性心臓炎(いずれも抗結核剤と併用する) (14)脳脊髄炎(脳炎,脊髄炎を含む。ただし一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ,かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いる),末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む),筋強直症,重症筋無力症,多発性硬化症(視束脊髄炎を含む),小舞蹈病,顔面神経麻痺,脊髄蜘蛛膜炎 (15)悪性リンパ腫(リンパ肉腫症,細網肉腫症,ホジキン病,皮膚細網症,菌状肉腫)及び類似疾患(近縁疾患),好酸性肉芽腫,乳がんの再発転移 (16)特発性低血糖症 (17)原因不明の発熱 (18)副腎摘除,臓器 組織移植,侵襲後肺水腫,副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲 (19)蛇毒 昆虫</p>
シクロホスファミド	<p>[内] (1)次の疾患の自覚的並びに他覚的症狀の緩解 :多発性骨髄腫,悪性リンパ腫(ホジキン病,リンパ肉腫,細網肉腫),乳がん,急性白血病,真性多血症,肺がん,神経腫瘍(神経芽腫,網膜芽腫),骨腫瘍 (2)次の疾患については,他の抗腫瘍剤と併用することが必要である :慢性リンパ性白血病,慢性骨髄性白血病,咽頭がん,胃がん,膵がん,肝がん,結腸がん,子宮頸がん,子宮体がん,卵巣がん,睾丸腫瘍,絨毛性疾患(絨毛がん,破壊胞状奇胎,胞状奇胎),横紋筋肉腫,悪性黒色腫 [注] (1)次の疾患の自覚的並びに他覚的症狀の緩解 :多発性骨髄腫,悪性リンパ腫(ホジキン病,リンパ肉腫,細網肉腫),肺がん,乳がん,急性白血病,真性多血症,子宮頸がん,子宮体がん,卵巣がん,神経腫瘍(神経芽腫,網膜芽腫),骨腫瘍 (2)次の疾患については,他の抗腫瘍剤と併用することが必要である :慢性リンパ性白血病,慢性骨髄性白血病,咽頭がん,胃がん,膵がん,肝がん,結腸がん,睾丸腫瘍,絨毛性疾患(絨毛がん,破壊胞状奇胎,胞状奇胎),横紋筋肉腫,悪性黒色腫</p>
インターフェロン	<p>[注] (1)腎がん,多発性骨髄腫,ヘアリー細胞白血病,慢性骨髄性白血病 (2)HBe抗原陽性でかつDNAポリメラーゼ陽性のB型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善 (3)C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善(血中HCV RNA量が高い場合を除く) (4)(スミフェロン300)亜急性硬化性全脳炎におけるイノシプラノバクスとの併用による臨床症状の進展抑制 (5)(スミフェロン300,スミフェロンDS300)HTLV-I脊髄症(HAM) (4)はバイアル製剤だけ(スミフェロンDS300シリンジ製剤は(4)を持たない) 注射用 (1)(500万I.U.)腎がん (2)(250万・500万I.U.)HBe抗原陽性でかつDNAポリメラーゼ陽性のB型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善 (3)C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善(血中HCV RNA量が高い場合を除く) (4)(250万・500万I.U.)慢性骨髄性白血病</p>
ビンブラスチン	<p>次の疾患の自覚的並びに他覚的症狀の緩解 :悪性リンパ腫(ホジキン病,リンパ肉腫,細網肉腫),絨毛性疾患(絨毛がん,破壊性胞状奇胎,胞状奇胎)</p>
ヒドロキシカルバミド	<p>慢性骨髄性白血病</p>

マイトマイシン	次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解 慢性リンパ性白血病,慢性骨髄性白血病,胃がん,結腸・直腸がん,肺がん,膵がん,肝がん,子宮頸がん,子宮体がん,乳がん,頭頸部腫瘍,膀胱腫瘍
ゲムシタビン	非小細胞肺がん,膵がん
シスプラチン	睾丸腫瘍,膀胱がん,腎盂・尿管腫瘍,前立腺がん,卵巣がん,頭頸部がん,非小細胞肺がん,食道がん,子宮頸がん,神経芽細胞腫,胃がん,小細胞肺がん,骨肉腫
ホリナートCa	葉酸代謝拮抗剤の毒性軽減
フルオロウラシル	[内] 次の諸疾患の自覚的及び他覚的症状の緩解 (a)消化器がん(胃がん,結腸がん,直腸がん等),乳がん (b)子宮頸がん。ただし,(b)は錠剤だけ [注] 次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解 (a)胃がん,肝がん,結腸・直腸がん,乳がん,膵がん,子宮頸がん,子宮体がん,卵巣がん (b)次の疾患については,他の抗腫瘍剤又は放射線と併用することが必要である:食道がん,肺がん,頭頸部腫瘍 外皮用:皮膚悪性腫瘍(有棘細胞がん,基底細胞がん,皮膚付属器がん,皮膚転移がん,ボーエン病,パジェット病,放射線角化腫,老人性角化腫,紅色肥厚症,皮膚細網症,悪性リンパ腫の皮膚転移) [坐] S状結腸・直腸がんの自覚的及び他覚的症状の緩解
ブレオマイシン	皮膚がん,頭頸部がん(上顎がん,舌がん,口唇がん,咽頭がん,喉頭がん,口腔がん等),肺がん(特に原発性及び転移性扁平上皮がん),食道がん,悪性リンパ腫(細網肉腫,リンパ肉腫,ホジキン病等),子宮頸がん,神経膠腫,甲状腺がん
イホスファミド	次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の寛解 肺小細胞がん,前立腺がん,子宮頸がん,骨肉腫
エストロゲン	[内] 更年期障害,卵巣欠落症状,卵巣機能不全症,膣炎(老人,小児及び非特異性),機能性子宮出血 [注] 産婦人科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・外科領域における手術中又は前後の出血の予防と治療,鼻出血,機能性子宮出血
ケトコナゾール	次の皮膚真菌症の治療 (a)白癬:足白癬,体部白癬,股部白癬 (b)皮膚カンジダ症 指間びらん症,間擦疹(乳児寄生菌性紅斑を含む) (c)癬風 (d)脂漏性皮膚炎
タモキシフェン	乳がん
ビルルビン	非小細胞肺がん
カルボプラチン	頭頸部がん,肺小細胞がん,睾丸腫瘍,卵巣がん,子宮頸がん,悪性リンパ腫,非小細胞肺がん
メルカプトプリン	次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解 急性白血病,慢性骨髄性白血病
シプロヘプタジン	皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎,皮膚そう痒症,薬疹),じんま疹,血管運動性浮腫,枯草熱,アレルギー性鼻炎,血管運動性鼻炎,感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽
ダクチノマイシン	ウイルス腫瘍,絨毛上皮腫,破壊性胞状奇胎
パクリタキセル	卵巣がん,非小細胞肺がん,乳がん,胃がん